

整備委員会設立の経緯



本校はグラウンド改修が長年行われておらず、暗渠排水がほぼなく表面排水の状態です。正しい傾斜にもなっておらず、雨が降ると数日間にわたって校庭（グラウンド）が使用できずに**授業や部活動に大きな支障**がでています。サッカー部や野球部の降雨後の練習や試合などは朝早くから水取りをしないと実施できない状況です。暗渠排水設備関連施設の整備及び人工芝化により、水取り等の負担がなくなり、グラウンドの**使用頻度**が格段に向上します。

本校は地域の防災拠点として避難所になっていますが、平成28年の熊本地震のように被災者がグラウンドにテントを張って避難生活を送る事態になった場合に、本校グラウンドは雨が降るとテントを張れる状態ではありません。体育館の改修は令和2年度に終了予定であり、グラウンドの暗渠排水設備関連施設の整備や人工芝化が実現すれば被災者が**安心して避難できる施設**にもなります。また、学校開放事業を行えば、**地域コミュニティの形成**にも寄与でき、地域に愛される伝統校としてより**魅力のある学校**となります。

学校グラウンドとしての機能を十分に果たす為、またより一層魅力ある学校作りのために整備委員会を設立し、同窓会会長の小川様に委員長に就任いただき、学校全体として人工芝化に取り組んでいきます。

